

令和4年度 香川短期大学
学校推薦型選抜前期
指定校選抜Ⅲ前期（特待生入試）
『国語総合』問題用紙

令和3年11月21日

注 意

1. 試験監督の指示があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題は□一□から□四□まで、12ページあります。
3. 解答用紙、問題用紙ともに受験番号を記入しなさい。
4. 答えはすべて解答用紙に書きなさい。

受験番号	
------	--

一

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください

村上陽一郎 『科学の現在を問う』による

【註】 ＊１）「フラインスロピ」…もとは「人間愛」をさすギリシヤ語。ここでは、人間的な生を大切にするという意味を示す。

問一 二重傍線部 (a)・(d)・(e) のカタカナにあたる漢字と同じ漢字を用いる単語はどれか。各選択肢から一つずつ選び、記号で答えなさい。また、(b)・(c) の語句の読み方をひらがなで記しなさい。

(a) キョウジュ ア 頓キョウ イ 辺キョウ ウ 偏キョウ エ キョウ大 オ キョウ年

(b) 糧

(c) 潔 (ち)

(d) スイコウ ア 完スイ イ 減スイ ウ 熟スイ エ スイ事 オ スイ奏

(e) コウリョウ ア リョウ識 イ 材リョウ ウ 裁リョウ エ リョウ土 オ 治リョウ

問二 空欄 A B を補うのに、最もふさわしい語句の組み合わせを、次の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

ア 具体・実用 イ 個別・内在 ウ 抽象・普遍 エ 人間・公共 オ 利己・相對

問三 空欄 C を補うのにふさわしい漢字二字の熟語を、文中から抜き出して記しなさい。

問四 傍線部①について、その理由として最も適当なものを、次の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

ア 科学に対する評価は人によって異なり、「生物学的な生」と結びつくとはかぎらないから。

イ 社会全体が、科学研究に普遍的な価値を認め、「生物学的な生」の営みに不可欠なものと考えているから。

ウ 科学者は、詩人や小説家のように、国家や社会が自らの活動に経済的支援をすべきである、という主張に違和感を持つから。

エ 科学研究は、ある個人にとっては「生物学的な生」に関わるものでも、ほかの多くの人々にも同様であるとは言えないから。

オ 科学研究は、芸術や文芸などの文化活動と違って、「大間的な生」とかかわっているから。

問五 傍線部②「二種の二重論理 ダブル・スタンダード」について、それを説明した次の文の空欄に、文中から適語を抜き出して補いなさい。なお、空欄内の漢数字は字数を示している。

社会は、社会的効用を備えた科学研究に I (五字) をするべきだという主張と、純粋な 知識のための知識」追求である科

学研究に II (五字) をするべきではないという主張。

問六 傍線部③「純粋に知的な活動」とは、具体的どのようなことか。それを端的に述べた箇所を、傍線部③よりも前の本文中から抜き出し、二十五字以内で答えなさい。

問七 次の各文のうち、本文の趣旨に一致するものをすべて選び、記号で答えなさい。

- ア 科学研究が国家や社会の支援を受けるには、芸術活動と同様に「大間的な生」に一層関わっていくことが必須である。
- イ 科学者は、詩人や小説家のように、国家・社会が研究活動に経済的支援するべきだと主張することを潔しとしなかった。
- ウ 科学研究の第一世代の科学者たちは、科学知識が一般社会にとって有益であると強調した。
- エ 科学の二重論理は現在においても、科学者の倫理観確立のためになお深刻な問題を投げかけている。
- オ 科学研究がもたらす効果の責任とその制御は、経験と知識を持つ科学者だけに任せるしかない。

二 次の文章は吉本ばなの小説『オンラインライト・シャドウ』の
一節である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください



この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います

問一 傍線部 (a) 「いたずらに」、(b) うつつる」の用例と異なる用例を、次の選択肢の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

(a) いたずらに

ア いたずらに月日を過ごす

イ いたずらに責め立てる

ウ いたずらに書物を乱読する

エ いたずらに手を焼く

オ いたずらに金を使う

(b) うつつる

ア 私の目にうつる

イ 青色は君によくうつる

ウ 彼女の手にうつる

エ オシヤレにうつる

オ 湖にうつる樹林

問二 空欄

A、

B、

C

を補うのに最も適当なものを、次の選択肢の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ただし、ア、オの選択肢は一度のみの使用とする。

ア あわただしく

イ まじまじと

ウ さりげなく

エ ゆっくりと

オ ほんの少し

問三 傍線部①について、どうして「不毛な努力」といえるのか。わかりやすく説明しなさい。

〈抜き書き文などではなく、設問文全体を読んで答えなさい〉

問四 傍線部②「これはその特番なのだ」は、具体的にどういう事実を指しているのか。三字以上六字以内で答えなさい。

問五 傍線部③「自虐」とほぼ同じ内容を表した箇所を、傍線部③よりも後ろの本文中からそのまま抜き出し、十二字以内で答えなさい。

問六 傍線部④「加害者はいなかった」とは、何を言おうとしたものか。「私」の意図が、具体的に「彼女」に伝わるように言い換えなさい。

問七 本文の表現の特徴について記した、次の文の空欄に補うべき適語を答えなさい。なお、カッコ内の漢数字は字数を示している。

白い橋、「青いもや」など寒色系の色彩によって情景が描かれており、それらは主人公の内面を反映する I (二字) 象風景

ということが出来る。また、その寒色で埋められた淋しい情景の中に、それとは対照的な II (四字) という事物が挿入されて、無意識のうちに主人公に生きる勇気を与え、作品に豊かな奥行きをもたらす効果を上げている。

三 次の四字熟語にはそれぞれ漢字の誤りがある。例に従って、誤りを抜き出して、正しく書き改めなさい。また、語句の意味をあと
の選択肢の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

例】 深望遠慮 誤) 望 ↓ 正) 謀 意味) ア

- | | | | |
|---|------|---|---------------------|
| ① | 栄古盛衰 | ア | よく考えて先を見通すこと |
| ② | 紆余曲節 | イ | 互いに攻め合うことで実力を高めること |
| ③ | 案中模索 | ウ | 隆盛したり衰退したりすること |
| ④ | 時期焦早 | エ | 励まし合い向上すること |
| ⑤ | 接磋琢磨 | オ | 初めは盛んで終わりがふるわないうこと |
| | | カ | 失敗を重ねながら次第に成功に近づくこと |
| | | キ | 手がかりのないままあれこれと試みること |
| | | ク | 物事のはっきりしない様子 |
| | | ケ | 時代に合わない拙速なやり方 |
| | | コ | 複雑な経過をたどること |
| | | サ | 事業や計画を始めるには早すぎること |

四

次の各傍線部について、適切な尊敬語・謙讓語に改めなさい。

・来週そちらに①行ってお詫びしたいので、ご都合のよい日時を②言ってください。

・皆様どうぞお食事を③いただいてください。

・司会者) ただ今より、当財団理事長がご来賓の皆様にご挨拶④されます。

・お客さまに対して) では、この資料を⑤押見なさつてお待ちください。「